

第62回定期大会
特集号

建設長崎

August
No.506
2007年8月15日

1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番53号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 発行責任者●北村政和 編集人●田上一郎 印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234



組織八〇〇〇名回復をめざし

建設長崎
第62回大会

活力ある組合づくりに邁進し
組織強化・拡大を図ろう!

第21回 参議院議員選挙
ご支援ありがとうございました。
与野党逆転！社民議席守る！

開票結果

【長崎選挙区】
大久保潔重 氏
(民主党・41)
当 352,953

【比例区】
山内 徳信 氏
(社民党・71)
当 145,666

比例区では、社民党新人の
前沖縄読谷村長・山内徳
信氏が苦戦を強いられなが
らも、社民党二議席の一つ
を確保しました。
皆様のご支援ご協力に心
よりお礼申し上げます。

第二十一回参議院選挙が七
月二十九日投票が行われ、
投票率は選挙区で五八・六
四％となり、(前回より約
二ポイント上回った。建設
党新人の前県議・大久保潔
重氏が自民党公認の小嶺氏
に約二万票の差をつけて、
初当選を果たしました。

(民主)(社民)
山内トクシン氏(比例区)
大久保ゆきしげ氏(長崎選挙区)

建設長崎第六十二回定期
大会が、七月十四日(土)、十
五日(日)の二日間、雲仙・小
浜勤労体育センターで開催
されました。

最初に、本部執行部を代
表して金子執行委員長より
県議選挙に対するお礼があり、
「組織拡大に向けて、
長建国保の有利性や共済制
度の魅力付けなどの地道な
活動の一つ一つ積み重ねな
がら、五方年計画の最後の
年のチャレンジにつなげた
い」と挨拶がありました。

来賓として全建総連の佐
藤書記長をはじめ、労働団
体や各政党の代表よりご接
拶を戴きました。

組織拡大表彰では、年間
二十六名の加入をした島原
支部と、年間五十七名の加
入をした佐世保中央支部の
二支部が目標を達成。個人
としては五名以上の拡大を
した井星博文さん(佐世保

中央)が表彰を受けました。
大会が、七月十四日(土)、十
五日(日)の二日間、雲仙・小
浜勤労体育センターで開催
されました。

大会が、七月十四日(土)、十
五日(日)の二日間、雲仙・小
浜勤労体育センターで開催
されました。



①組織九〇〇〇名復元をめ
ざし、年間三五〇名を拡大
しよう②分会会議とふれあ
い訪問で分会・班の内部強
化を図ろう③住宅リフォー
ム助成制度の新設要請行動
と全支部が得意先回りと住
宅デーを通じて、仕事確保
で職場を守る④建設技能
者が尊重される社会づくり
をめざし、若年技能者の育
成と技術技能の向上をめざ
そう等14項目を拍手で採択。
大会宣言(案)を馬渡青年
部長が読み上げ「平和で安
定した豊かな暮らしと、技
(古井)

定期大会出席者

大会代議員	116名
出席代議員	111名
委任代議員	5名
特別代議員	39名
青年部	9名
主婦会	30名
執行部	53名
書記局	44名
総合計(委任を除く)	247名
来賓	35名

第六十二回建設長崎定期大会
執行委員長挨拶

県下十五支部より参加いただきました代議員、青年部、主婦会の皆さん、本当にご苦勞様です。また、ご来賓の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

本年四月に行われました統一自治体選挙におきまして、見事当選を勝ち取ることができました、心よりお礼を申し上げます。

県議会議員の最初の六月県議会は開会当初より、県議会議長の暴力団と疑われる人との就任祝賀会出席に端を発した議長への不信任案の提出、久間防衛大臣に対する抗議決議を可決など、異例づくめの議会でした。

今回私は、改革二十一の会派に所属し、常任委員会「経済労働委員会」、特別委員会は「少子・高齢特



執行委員長
金子三智郎

別委員会 となりました。組合活動にも多くの点で重なる部分があり全力で頑張つて行きたいと思っています。

内閣は小泉政権から安倍内閣へと替わりました。しかし、その路線は弱者切り捨て、格差の拡大、大幅な増税など、数に物を言わせたごり押しで、強行採決で決定され、さらに防衛庁の「省への昇格」、「自衛隊法」

「教育基本法」の改悪、「国民投票法」など、戦争ができる国への一歩一歩を確実に進み始めました。

いま、国民の関心は、年金問題に集中しています。生存権を守り生活権を守るためには、私たちにその被害が及ぶようであれば全力で闘いたいと思います。

私達の声が県議会へ、市議会へ、そして国会へ届くことを念じて、今の弱者いじめの政治を変えるために

大会あいさつ
要旨

国保・共済の有利性を広め組織拡大につなげよう!!

「参議院議員選挙」で勝たなければなりません。

今日長崎は、全国で四十四番目という不況のどん底に陥っています。

さらに、公共工事も約半分という落ち込みのなかに、WTO（国際貿易機関）の国際入札工事が県内にも進出しており、予定価格の六〇パーセント台、最悪で五十二パーセントという落札も発生しています。

現場の安全経費も法定福利費も全く算定されず、労務費が半額でも難しい数字となっています。

WTO工事は落札に最低制限がない工事であるものの、現場で働く技能労働者が元請け会社の受注競争のツケを被らなければいけないいわれはなく、落札された工事金額とは関係なく『適正な労賃』を受領できるためのシステム作りを急がなければなりません。

長崎県議会及び長崎市議会で採択された「公契約法」制定を国に求める請願は、このような現状を改善しようとするものですが、一歩進めて「公契約条例」制定に向けての動きが求められています。

組合員の生命と健康を守る長建国保は、一昨年に給付の見直しを行い、昨年度は三〇歳未満の一般組合員保険料の「引き下げ」を実施しました。償還払いの利点とを合わせ、組合強化拡大の面からも、是非とも長建国保の有利性の宣伝強化をお願いしたいと思っています。

組織の拡大は、五カ年計画の四年目でしたが、不況型脱退が依然として多数を占めており、地道な活動の一つ一つ積み重ねながら、最後の拡大年のチャレンジにつなげたいと思っています。

今の現状を打開するためには、一人一人がどのようにして行けばいいのか、そして、組合という場で行動することによって、社会の変革をどのように求めて行くのか、そのような転機にしていたいただければと考えています。

来賓紹介

長崎県平和運動センター 事務局長	出席者 敬称略	坂本 浩
長崎地区労働組合会議議長	蜂須賀洋一	
長崎県労働者福祉協議会 事務局長	中村 忠孝	
九州ろうきん長崎県本部 本部長	池田 篤	
全労済長崎県本部 専務理事	重松 文男	
県議会議員	楠 大典	
県議会議員	橋本 希俊	
長崎市議会議員	池田 章子	
長崎市議会議員	野口 達也	
諫早市議会議員	城田 拓治	
大村市議会議員	松崎 鈴子	
島原市議会議員	松本 匠	
佐世保市議会議員	早稲田矩子	
長与町議会議員	春田 幸世	
長崎県教職員組合 中央執行委員長	明石 佳成	
長建木材供給(株) 取締役部長	小森 隆雄	
長崎県職業能力開発協会 専務理事	井坂 達朗	
全福岡県建設労働組合 委員長	堤 隆男	
佐賀県建設労働組合連合会 委員長	山田 未	
佐賀県建設労働組合連合会 副委員長	原口 弘	
長崎県建設産業労働組合 顧問	前田 富雄	



全建総連書記長
佐藤 正明



連合長崎会長
高石 哲夫



衆議院議員
高木 義明



県議会議員
吉村 庄二

大会諸役員

敬称略

大会運営委員長兼資格審査委員長

丸田 保

選挙管理委員長

前田 三男

大会議長

本多 常秋(中央) 右
川尻 修治(平戸) 左

大会書記

大賀 修司(専従) 右
原田 恒久(専従) 左



第一分散会議長

工藤 是正(天浦)
西平 博之(専従) 報告者
寺田 孝弘(平戸)

第二分散会議長

坂口 忠義(中央)
佐藤 圭介(専従) 報告者
伊藤 一廣(大村)

第三分散会議長

古川 勝(浦上西)
石田 哲雄(専従) 報告者
丸田 勉(佐東)



大会祝電

(順不同・敬称略)

長崎県土木部部長 上野進一郎	山梨県建設組合連合会会長 池川 春男
長崎県産業労働部部長 石橋 隆	長野県建設労働組合連合会執行委員長 高木 常吉
衆議院議員 高木 義明	岐阜県建設労働組合執行委員長 藤白 勇
衆議院議員 山田 正彦	静岡県建設労働組合執行委員長 石野 實
参議院議員 犬塚 直史	全愛知建設労働組合執行委員長 山田 正巳
元国務大臣 石井 一	三重県建設労働組合執行委員長 森本 文雄
長崎市長 田上 富久	滋賀県建築組合会長 中村 藤夫
佐世保市長 朝長 則男	全京都建築労働組合執行委員長 田辺 正男
島原市長 吉岡庭二郎	大阪建設労働組合執行委員長 高橋 英一
南島原市長 松島 世佳	兵庫県建設労働組合連合会会長 安達 智紹
諫早市長 吉次 邦夫	奈良県建築労働組合執行委員長 中嶋 弘
大村市長 松本 崇	(社)奈良県建設業振興会理事長 栗山 司
松浦市長 友広 郁洋	和歌山建設労働組合会長 波多野和美
時津町長 平瀬 研	鳥取県建築連合会会長 渡辺 行雄
長与町長 葉山 友昭	(社)島根建築組合連合会会長 桑田 忠義
長崎県議会議員 橋本 希俊	岡山県建設労働組合執行委員長 石部 明
佐世保市議会議員 速見 篤	広島県建設労働組合執行委員長 安元 弘道
日本住宅新聞社代表取締役 田部 義司	建設山口本部執行委員長 小川 勇
北海道建設労働組合連合会執行委員長 松島 磯巳	建設山口本部書記長 田村 豪勇
秋田県建設労働組合組合長 伊藤 和雄	徳島県建設労働組合執行委員長 辻 秀昭
山形県建設労働組合連合会委員長 伊藤 義彰	フレッセ執行委員長 小泉 栄昭
茨城県建築連合会執行委員長 古澤 昌之	香川県建設労働組合執行委員長 斉藤徳太郎
群馬県建築業組合連合会会長 川合 秀夫	高知県建設労働組合執行委員長 杉本 義忠
栃木県建設労働組合執行委員長 高梨 文夫	福岡県建設労働組合執行委員長 西山 徹
建設埼玉中央執行委員長 孤田 勇司	佐賀県建設労働組合連合会執行委員長 山田 末
埼玉土建 一般労働組合中央執行委員長 鈴木 稔	熊本県建築労働組合執行委員長 楠元 繁芳
神奈川建設労働組合連合会会長 内藤 勝義	大分県建設労働組合執行委員長 長濱 泉
千葉土建 一般労働組合中央執行委員長 鈴木 雄一	宮崎県建設労働組合執行委員長 中川實二郎
全建総連千葉県連合会執行委員長 鈴木 紘	鹿児島県建設技能者組合執行委員長 皆元 鐵夫

他支部との交流良かった

今回、初参加会議のほうは…？初めてなので、こういうもんかって感じでした。
懇親会の方は普段会って話もしない別の支部の方と色々話が出来よかったと思う。



【佐世保東支部】
田中 光輝

意見を聞き、勉強になった

今回初めて定期大会に参加して、正直内容的にはよく分からない事が多かった。
でも、本会議・分散会いろいろな意見、要望を聞き、大変勉強になりました。
また、職人太鼓の一員として、多くの組員さんの前で太鼓の演奏を披露することができ非常に有意義な2日間でした。また、機会があれば参加したい。



【浦上東支部】
吉田 光夫

定期大会に参加して



二日間、勉強になった

私は、定期大会に初めて出席しました。自分の組合としてこの二日間、熱心に討議されていた、その内容は、私自身にとって勉強になりました。
今後の建設長崎の発展に少しでも協力できればと思います。



【佐世保北支部】
松瀬 康孝

スムーズな運営に感心

下手すれば、だらだらとなってしまうような大会の進行を、事前の準備、メリハリのきいた説明等でスムーズな運営に感心しました。書記局の皆様お疲れさまでした。



【西彼支部】
松林 敏

青年部長として勉強

今年度、支部の青年部長をひきうける事になり、青年部の事をあらためて勉強しようと思いい大会に参加しました。改めて参加してみたいへん勉強になりました。



【中央支部】
伊東 秀政

全国技能競技大会では力を発揮したい

・資格取得や若年層の技術向上のために努力してもらっていることが、あらためてわかりました。
・技能大会で全国大会に代表として出場させてもらうことになり、できるだけ練習をして、自分の出せる力を発揮できるよう頑張りたい。



【北松支部】
里森 潤

若い人の参加を

組合のことが良く分り、勉強になりました。支部の代議員の参加の人が変わりません。来年度より若い人（青年部）の参加をお願いしたいと思います。おつかれさんでした。



【諫早支部】
田嶋 義光

厳しさを真剣に受け止めて

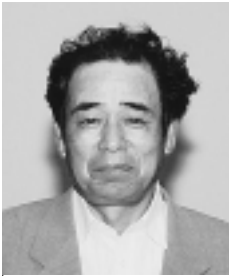
参加者の皆さんの本会議または分散会での熱心な討議を聞いて、この厳しい現状をもっと本部役員の方々に真剣に受け止めて頂き、少しでも組員員の生活安定に結び付けてほしいと思います。共に頑張らしましょう。



【大浦支部】
竹崎 初雄

組合員の繁栄と団結を強く感じた

当日（十四日）は早朝より台風四号の影響により雲仙の会場までの道程は大変でした。会場へ入り大会が開始（十時）され、諸々の議事が進行するにつれ、各支部の代議員の目の輝きが、私の胸の内に強い衝動を与えました。長引く不況に誰もが生残りを掛け頑張っている様子が手に取るよう見えました。分散会でのかなりのシビアな意見・質問に建設長崎十五支部の組合員の団結心を強く感じ得ることができました。



【平戸支部】
山田 精市

活発な意見を聞き勉強になった

今回で三回目の参加で毎年、本会議、分散会の中で皆様の活発な意見を聞いていましたが、今年は分散会で青年部の抱えている課題について質問させて頂きました。本部からも立派な回答を頂き、その課題も解決することができました。また、二日間を通じて、各支部からの様々な意見等を聞くことができ、大変勉強になりました。



【大村支部】
高取 征治

今後の奮闘に期待

景気の低迷と共に、仕事不足と組員の高齢化で、組織減少の報告がなされており、今後の組合に不安を感じます。
今後の組合役員皆様の奮闘に期待しつつ、私自身も組合活動に積極的に参加して頑張ります。



【市南支部】
山崎 昌晴

組織力の大切さを痛感

今回、初めて定期大会に参加させて頂いていただきました。
議案に対する代議員の皆さんの真剣な質疑、それに対する答弁がなされており、組織力、また足並みを揃えることの難しさ、大切さを感じました。
これからの組合活動に、この経験を活かして、がんばりたいと思います。



【書記局】
城下 大輔

組織の大切さを再認識

今回数年ぶりに大会に参加しました。長引く不況の中、代議員の皆様活発な意見・質問を聞きながら組織の大切さが再認識され大変勉強になりました。この経験を生かし、これからも、組合活動に積極的に協力し支部、分会を盛り上げていきたいと思っています。



【島原支部】
酒井 克祝

様々な活動について知り勉強になった

初めて参加させて頂きました。悪天候の中での定期大会でしたが、その規模の大きさと組員皆さんの熱い意見が交わされているのを目の当たりにし、様々な活動に取り組んでいる事を知る事ができ、その大切さを勉強させて頂きました。今後の支部青年部の活動などに、生かして行ければと思います。



【東長崎支部】
野口 裕二

皆さんの力になれるよう頑張ります

今回初めて定期大会に参加させて頂き、皆さんのリアルな意見を聞く事が出来てとても勉強になりました。また悪天候にも関わらず、非常に多くの参加者が集まり、一人一人が組合の事を本当に良く考えている事に感激しました。私も皆さんの力になれるよう、頑張っていきたいと思っています。



【長建国保書記局】
川村 未央

若年層の仲間を増やしていきたい

何度か定期大会に参加させて頂き、代議員の皆さんの活発な質問・意見に圧倒された二日間でした。
私も、青年部として活動していますが、若年層の仲間を増やしていけるような活動にもっと取り組んでいかなければと痛感しました。これからは、今よりも厳しい情勢になると思いますが、組合運動に頑張っていきたい。



【佐世保中央支部】
大島 和敏

支部・分会活動に活かす

今回で三度目の参加です。組員の方々から仕事確保・組織拡大など熱心な質問が生まれ、改めて大変意義ある大会と感じました。
今後も、組合の大切さを認識し、支部・分会活動に活かしていきます。



【浦上西支部】
林 九州男



賃金・工事単価の確保と労働条件の改善を求めて「建設長崎7・23総決起集会」が七月二十三日、長崎原爆資料館ホールで開催されました。

組員、主婦、書記局員など全体で二一四名が参加し、賃金の切り下げなど厳しい現状の打破に向けて結集を図りました。

金子執行委員長は「私たちの賃金・工事単価は、不況のどん底にある。大手ゼネコンは数千億円の利益を挙げているが、長崎の中小零細現場は非常に厳しく、地場の中堅も次々に倒産し

ている。二十日には、県に要請を行い、中小零細業者への工事発注や設計労務単価が下がり続け、賃賃にしなければならぬ事を訴えた。国を動かすためには、参議院選挙で勝たないといけない。そのことが私たちの生活を守ることになる。」とあいさつ。

労働団体は連日長崎の小石事務局長を始め県平和運動センターの平田副議長、長崎地区労の蜂須賀議長から連帯のあいさつがあり、政党を代表して社民党県連の吉村幹事長と民主党県連から川越幹事長も激励に駆けつけました。



7・23
総決起
集会

賃金・工事単価の確保・労働条件の改善求め



国民の怒り爆発！与党過半数割れに「参議選国民の審判」

暑中お見舞い申し上げます。 祈り申し上げます。

参議院議員選挙は選挙熱い日が続きます、ご自区で大久保ゆきしげ氏、愛いただきますようにお比例区で社民党の山内ト

長崎県議会議員 金子三智郎

クシン氏が見事当選されました、皆様のご協力に心よりお礼を申し上げます。

今回の選挙で、地方切り捨ての政治、格差社会への批判、年金処理への不満、平和を踏みにじる事への反発など、おごり高ぶった現政権への不満が、全国へ広がった結果、参議院の与党の過半数割れという結果を生み出した。これから、今の政治を大きく方向修正して行きますよう。

これからも県政浮揚少しでも私たちの生活が向上する為の施策を求めていると思います。よろしくご支援いただきますようお願い致します。



建設技能者救済の施策を訴え

県土木部長交渉

建設長崎と(社)中小建設業協会は、建設現場で働く建設技能者救済のための施策を講じるよう長崎県土木部長に対して七月二十日、要請行動を行いました。

要請は、午前十一時から約一時間、県農協会館において県側から土木部次長の中村正氏を始め六名と組合・中小建設業協会から金子委員長以下十九名が出席して行われました。

二、労務単価の引き上げについて

労務単価は、国が十月に各県の事業者へ調査を行い、その資料を基に決定している。労務費が労務単価に跳ね返らないのは、調査を受けた事業所の調査項目に対する意識改革も必要。適正に職種が分類されているか。現物給与等が計上されているか指導したい。

三、住宅リフォーム助成制度の創設について

民間リフォーム(耐震支援事業)は、十八年度は、耐震診断が三十一件、改修工事は三件。十九年度現時点では、診断十八件、改修工事五件が起きているが、PRが必要だ。台風のための瓦改修単独では補助外となるが、耐震工事と同時にしてはどうか。



平成19年度 建設長崎 組合員家族慰安 大運動会

開催のお知らせ

主催／長崎県建設産業労働組合
共催／長崎県建設事業国民健康保険組合
長崎県建設技術専門学院本部
社長崎県中小建設業協会



伊良林校区まつり

中央支部

毎年恒例の包丁研ぎと木工教室は大盛況

あ の大水害から二十五年、伊良林地区では、犠牲者のご冥福をお祈りするため、校区まつりが開催されます。

梅雨明け間近の七月二十一日、まつりのオープニングと併せて、包丁研ぎ・まな板・スノコ販売、親子木工教室を行いました。

中央支部としても、毎年、協賛して、住宅デーを開催しています。

毎年開催している事もあり、包丁研ぎのコーナーは、午後五時の受付開始と同時に親子木工教室において、子供たちの夏休みの宿題になればと、青年部で知恵を出し合い、色とりどりのタイルを使い、花台（鍋敷きにもなる？）を準備しましたが、子供たちが殺到し個性あふれる作品に親子ともども満足して帰路に着いていました。



親子木工教室

海岸美化活動

市南支部

短時間にもかかわらず30袋のゴミ回収

梅 雨明けが待ち遠しい曇り空の蒸し暑い七月二十二日（日）川原海水浴場に於いて、組員・主婦会二十二名の参加で海岸清掃活動に取り組みました。

ちようど三日程前に海開きし、夏休みに入ったばかりの海岸には、タバコの吸い殻や花火の後が、あちらこちらに散乱しており、参加した組員さんは『マナーの悪かなー』と言いな

がら、皆さん、せっせとゴミを集めてました。

また、砂浜には焚き火後の木炭もたくさん砂に埋も



三和町川原海水浴場

支部だより

ペーロン選手権大会功労者表彰式（東長崎支部 牧島支部長・写真中央）



ペーロン ぐくろうさまでした

10年連続出場の『ガンバリ』に表彰

東長崎支部

七月二十八日（土）・二十九日（日）の両日、松ヶ枝観光埠頭において、長崎市の伝統行事である平成十九年「長崎ペーロン選手権大会」が開催されました。

今回、「建設長崎ペーロン」は出場を断念しましたが、長年に亘り、「職域対

建設長崎ペーロンは、東長崎支部の有志により平成九年に結成され、同年のペーロン大会に初出場し、

しかしながら、昨今の建設不況による残業の延長や、転職による選手不足により、選手一丸となった練習に取り組む事が出来ないなど、本年の出場を断念したところで

地震保険料控除制度

くらしの豆知識

火災保険を主とする従来の損害保険料控除に代わるものとして、地震保険料控除制度が今年1月から新設されています。課税所得額の算出にあたって、支払った地震保険料を控除できるもの。地震保険の加入促進が目的です。

対象になるのは、今年1月1日以降に支払った地震保険料から年末調整の際に申告できます。控除できる金額は、所得税の場合が

組合員の皆様へ 団体取扱がん保険のご案内

21世紀がん保険

スペシャルプラン（解約払戻金あり）
保険期間：終身・契約年齢：満3歳～満80歳（ご本人コース）

がん（悪性新生物）の保障	初めて診断確定されたとき	それぞれ1回限り	がんの場合 上皮内新生物の場合	100万円 10万円
	入院したとき 手術したとき	回数無制限	1日につき 1回につき	10,000円 20万円
がん（悪性新生物）の保障	20日以上継続入院後 在宅療養したとき	回数無制限	1回につき	15万円
	5日以上継続入院後 通院したとき	往診も含む	1日につき	5,000円
がん（悪性新生物）の保障	特定のがん治療で 通院したとき	往診も含む	1日につき	5,000円
	先進医療を受けたとき 在宅末期医療を開始したとき		技術料に応じて 一時金として	6～140万円 10万円
がん（悪性新生物）の保障	在宅末期医療を開始した日からケアを継続してうけているとき		1日につき（最高180日）	5,000円
	がんで死亡したとき		10万円（がん以外で死亡のときは5万円）	

【個人情報の取扱に関する案内】
資料請求いただいたお客様の個人情報は、当社が委託を受けている生命保険会社・損害保険会社の各種商品やサービスの案内・提供・維持管理を行うため利用させていただきます。
なお当社における個人情報の取扱及び当社が委託を受けている保険会社の範囲、あるいは、利用目的の通知、開示・訂正・削除等については、ホームページ（http://www.ki-ra-ra.jp/）の「個人情報保護方針」をご覧くださいようお願い申し上げます。

【個人情報に関するお問合せ窓口】
きらら保険サービス株式会社 お客様満足推進室 シニアマネージャ 連絡先 TEL：09-3564-7752 e-mail：privacy@ki-ra-ra.jp

《お申込方法》 きらら保険サービス 九州支店までご連絡願います。

フリーダイヤル 0120-191-455

※なお、お申込の際に、長崎県建設産業労働組合の組合員様であることをお申し付けください。

Aflac

非常に強い>>>
アフラックの
保険財務力格付け
AA
（スタンダード&アース/平成19年6月現在）
・保険財務力格付けは、保険金支払いの能力に対する格付け会社の意見を表しています。
・格付けは現在の情報に基づいており、将来的には変化する可能性があります。

●保険料一部抜粋（ご本人コース）

【保険料払込期間：終身】団体取扱・月払（2007年9月2日時点）

契約年齢	男性	女性
30歳	2,900円	2,900円
40歳	3,909円	3,909円
50歳	5,240円	5,240円
60歳	7,088円	7,088円

※ご確認ください

◎この資料は、記載の保険（プラン）の概要を説明しております。保障の開始と期間、保険料、解約払戻金などの詳細については、ご検討の際にお渡しするパンフレットや「ご契約のしおり・約款」にてご確認ください。

◎お仕事の内容やご健康状態などによってはお申込みをお引受けできない場合などがあります。

■引受保険会社■

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 福岡東支店
〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ・ビジネスセンタービル10F
TEL(092)281-6716 FAX(092)281-7360



■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

きらら保険サービス株式会社 九州支店
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-4 JPR 博多ビル
フリーダイヤル 0120-191-455